

エ、天然記念物

種別	名 称	所 在 地	指定月日
植物	大聖寺のアカガン樹群	双葉郡浪江町	50.5.30

② 国指定文化財

昭和50年度において国指定文化財の指定告示はなかったが指定が決定しているもの。

- 史跡 亀ヶ森・鎮守森古墳 会津坂下町
- 国選択重要無形民俗文化財 安達郡岩代町 小浜長折の三匹獅子舞

③ 文化財の指定解除

国及び県指定文化財についての解除はなかった。

(4) 文化財の普及公開

① 北海道・東北ブロック民俗芸能大会

ア、目的

昭和50年度移動芸術祭地元公演として、北海道、東北ブロック内に伝承される民俗芸能のうち、価値の高いものを広く一般に公開し、その鑑賞をとおして、民俗芸能の理解と認識を深め、無形民俗文化財としての保存伝承を図るとともに、併せて上演芸能の記録を作成した。

イ、主 催

文化庁、福島県教育委員会、第17回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会

共 催

福島市教育委員会、財団法人福島県文化センター
福島民友新聞社

ウ、期 日

昭和50年9月7日(日)

エ、会 場

福島県文化センター（福島市春日町）

オ、出演民俗芸能

- 広瀬熊野神社の御田植（福島県）
- 八沢木獅子舞（秋田県）
- 金ヶ沢鶏舞（青森県）
- 礪波獅子舞（北海道）
- 川前の鹿踊（宮城県）
- 台 笠 踊（岩手県）
- 梓山獅子踊（山形県）
- 比曾の田植踊（福島県）

カ、観覧者

一般入場者約 1,200名

② 県民俗芸能大会

ア、目的

県内の遺存する民俗芸能のうち価値の高いものを広く公開し、民俗芸能に対する一般の理解と認識を深めるとともに、公開芸能の記録保存を保存を行った。

イ、主 催

県教育委員会、いわき市、いわき市教育委員会、福島民友新聞社

ウ、期 日

昭和50年11月29日(出)

エ、会 場

いわき市文化センター

オ、出演芸能

- 磐梯神社の巫女舞（磐梯町）
- 大久保の田植踊（飯館村）
- 白岩の太々神楽（白沢村）
- 館のじゃんがら念仏踊（いわき市）
- 西郷の獅子舞（川内村）
- 下湯長谷の長持行列（いわき市）
- 絹谷の獅子舞（いわき市）

カ、観覧者

約 1,000名

③ 文化財研修バス

ア、目的

県民が直接文化財に接することにより、文化財に対する理解を深めるとともに、文化財の保存、活用の推進を図る。

イ、内容

各教育事務所が主催し、研修生50名を募りバス1台を運行した。

ウ 対 象

主として一般人（婦人、若年層）を対象とし、市町村文化財調査員、教育委員会事務担当者をも含めた。

エ、講 師

秋山政一、田中正能、室井康弘、石川佐中、菊池康雄

オ、期 日・見学先

- 県北 9月30日 県中、須賀川博物館ほか
- 県中 9月4日 県北、大蔵寺ほか
- 県南 8月28日 県中、石川町歴史民俗資料館ほか
- 会津 10月7日 県北、陽泉寺ほか
- 南会津 8月24日 会津、恵隆寺ほか
- 相双 9月26日 いわき、薬王寺ほか
- いわき10月5日 県中、石川町歴史民俗資料館ほか

④ 文化財指導者講習会

ア、目的

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、文化財保護について指導的立場にある関係者の参集を求めて、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展を図った。

イ、主 催

県教育委員会、いわき市教育委員会

ウ、期 日

昭和50年7月28日(月)、29日(火)

エ、会 場

いわき市文化センター

オ、参加者

文化財保護行政を担当する市町村職員、市町村の文化財調査委員又はこれに準ずる者、小・中・高等学校の教員、文化財保存団体の関係者約 150名。

カ、講習内容

(7) 講演